



伊深っ子

伊深小 学校だより R5,5,26

FROM-0 歳プラン2推進校

『明るく笑顔あふれる伊深っ子』

～学び合う 思いやる やりぬく～

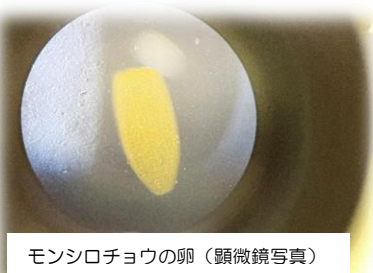
明るく笑顔あふれる伊深っ子をめざして ～ 場を作ることこそ学校や大人の役目 ～

朝のチャイムと同じくらいのタイミングで山際からウグイスが高らかに爽やかな鳴き声を披露しています。すると、伊深の子どもたちも競うかのように教室から歌声を響かせている朝のひと時です。学校であれば当たり前だった光景が、少しずつ取り戻されています。

先日、5年生が総合学習の中で学校運営協議会の福田美津枝さんから郷土料理について学びました。授業の終わりには、5年生の子



どもたちがお礼の気持ちを込めて、音楽の授業で学習した「ビリーブ」を披露しました。すると、美津枝さんの目頭から涙があふれ、子どもたちの思いを受け止めてくださいました。



モンシロチョウの卵（顕微鏡写真）

えがお学級の理科の授業では、日頃から観察しているモンシロチョウの卵や蛹になったアゲハチョウの様子を伝えるために校長室に来て、「この蛹はあと1週間くらいで成虫になります」等、様々な説明をしてくれました。担任の先生は、モンシロチョウの卵を双眼実体顕

微鏡や顕微鏡を使って、観察をされましたが、対象児童は、初めて観察した卵の様子に驚いていました。

子どもたちの毎日の成長はほんの僅かでしょうが、その僅かな成長が蓄積され、ある時ビッグな変化を起こします。ビッグな変化のためには、育んだ力を活用する場が必要です。5年生の子どもたちは、習った合唱を披露する場を与えられ、聞き手の方が感動する様子を目の当たりにしました。えがお学級の仲間、説明する場や観察する場を与えられ、相手を意識しながら身に付けた知識を伝え切りました。いずれも子どもたちは、与えられた場を使って、これまで積み上げた力を発揮しようとしたことがわかります。禅のことばに啐啄同時（そったくどうじ）ということばがあります。日常の教育にぴったりなことばです。それでは、啐啄同時とは。次号に続きます。

<保護者や地域の方々へ>

伊深小学校は、令和5年度をもって創立150周年を迎えます。これまでも長い間、地域の方々にご理解ご協力を賜り、今回の節目を迎えることができました。

学校では創立150周年事業として、航空写真を撮影します。撮影日は7月12日（水）を予定しています。保護者や地域の方で航空写真に加わりたい方は遠慮なく参加してください。参加される場合、予め電話連絡（29-1396 教頭宛）していただくと幸いです。天候が悪い場合の予備日は、7月13日（木）です。紙面による案内はありません。予定変更や中止の案内については学校ホームページでお知らせします。

なお、撮影時刻は9時45分から10時15分くらいまでです。希望される方は、9時45分までに伊深小学校グラウンドにお集まりください。

伊深小学校長 宮西 祐治